

# 青少年相談員だより



“ なかひまわりフェスティバル2017 ”において中学区合同パトロールを実施しました！  
 (H29.8.26 撮影)

## 「いのちの授業」日野原先生のコラムより

那珂市青少年相談員連絡協議会

会長 関 守

昨年の7月、医師・医学博士の日野原重明先生が105歳で亡くなられました。

氏は生前、「いのちの授業」と題して10歳の子どもたちと交流してきました。氏は語りかけます。「いのちはどこにあると思う?」「いのちは君たちの時間の中にあるんだよ」と。

「君たちは、今、毎朝ご飯を食べて、学校に来て勉強して、友達と遊んで、これは全て自分のためだよね。」

「君たちは、子どものうちは与えられている時間を全部、自分のために使いなさい。だけれども、君たちが大きくなったら、君たちの廻りの人のために使ってくださいね。そして、地上での時間が終わった時、神様が天秤を持って待っているのです。」

「生きてきた時間のうち、人の為に多く使った人が天国に行く。」

来年の4月末に「平成」という時代が終わります。一言で、どんな時代だったかと考えると、規範が失われた時代だったように思います。先の見えない規範なき時代には、個人の考えをしっかり持つことが大事です。果たして新時代は、どんな時代になるのか。本当に理解しているのは、子どもたちかも知れません。いつの時代も「大人が変わらねば」と思う日々です。

## 中高生と語る会

毎年、夏休み期間を利用して開催しているこの会は、中学校区ごとに中・高校生と大人（教師や保護者・地域住民等）が一堂に会し、学校生活や家庭生活・大人社会等について熱い思いを交わす場となっています。

今号では、その中から、3つの中学校区の様子をお知らせします。

### ばら野学園 第一中学校区

平成29年8月7日、一中会議室で、「未来に向けて、今考えている事」をテーマに話し合いをしました。参加者は、中学生12名、高校生8名、教員3名、青少年相談員12名、4班に分かれて行いました。

#### (1) これからの進路について

**中学生から**  
 ○進路は決まっていない。志望校は決まっている。  
 ○勉強や部活で精一杯、毎日が充実している。○看護師、薬剤師になりたい。○部活で勉強3の割合で生活している。○ダンスを活かし、ミュージシャンになりたい。  
**高校生から**  
 ○商業科で様々な資格を取り、自営業をしたい。○消防士になりたい。部活、筋トレに励んでいる。  
 ○美術系の職業（美術品修復、芸員など）。○子どもが好きなので幼稚園の先生。○理数系が好きで、設計士になりたい。

#### (2) SNS、スマホについて考える事

##### 中学生から

○自分は持っていない。○親との連絡用。クラスの半分以上は持っている。○LINEの仲間は70、80人いる。○買う時は親との条件付き（ゲームは時間を決めて、食事中はしないなど）。

##### 高校生から

○料金は親が出しているの、わからない。○LINEは面倒な時もある。○クラスでの所持率は90%以上。

#### (3) いじめの問題

##### 中学生から

○いじめはなく、平和です。○部活動などで見られる。○ペアで練習の時、一人になってしまう人は決まっている。○LINEに影響される事がある。

#### (4) その他

##### 中学生から

○悩んだ時は、母親に相談する。○自分で解決する。○親は怖いと思わないが、先生の中に怖いと思う人がいる。

##### 高校生から

○受験が近づくと、ピリピリしているが、友達や先生に恵まれた。○大人に対して自分から挨拶しているのに、無視されて嫌な気持ちになった。○悩んだ時は両親に相談する。友達関係は兄にも相談する。  
 (5) 青少年相談員からのアドバイス  
 ○挨拶は大切なことなので、続けてほしい。○悩みがある時は、相談することが大切。身近にいる友達、両親など、誰か一人は相談できる人を作ってほしい。



### 青遙学園 第二中学校区

中学生21名と、教育委員・まちづくり委員会の代表者などの来賓、保護者、先生方、そして青少年相談員総勢41名が集い、スマホ・携帯の安全な使い方について「中高生と語る会」を開催しました。

まず、KDDI社員による『KDDIスマホ・ケータイ安全教室』と題した出前講座があり、次いで、3つの分科会に分かれ、高校生の司会進行と記録係のもと講話の内容について話し合いなどを行いました。

講話では『スマホ・ケータイを安心・安全に使用するための』の対策として、有害なサイトやアプリの閲覧を制限し、安心してインターネットを使うため、オフイタルリングを適切に設定する。○子どもたちの変化

やトラブルといったサインを見逃さない。○利用状況を把握する。○正しい利用方法を身に付けさせるため家庭でルールをつくる。○成長にあわせてルールを見直す。○長時間使用による依存を防ぐ。○気軽に相談できるよう日頃から親子関係を築いておくことなどが有効とのことでした。

分科会に出席した中学生の7割、高校生は全員がスマホを持っており、中学生にとって、必需品の一つになりつつあるようです。

分科会終了後には、スマホなどネット環境があることにより、情報収集や無料通話、災害時の連絡用としての利便性といったメリットがある一方、デメリットとしては、架空請求や迷惑メール、犯罪に巻き込まれることの危険性、ネット依存やメールなどでの友人とのトラブルといったことなどが挙げられ、今後の利用方法について再認識できた、との意見があり、有意義な語る会となりました。



なお、筑波大学徳永保教授は、平成27年9月16日の茨城新聞の『茨城論壇』で、「スマホの用途はニュースなどの検索、SNSでの送受信、ゲームなど人によってさまざまかもしれないが、それが何であっても片時も手放せないというのはスマホ依存症と言うほかない。非常に遠回りのよう、その実、最も効果的なのは、学校教育や啓発、書籍を通じて子どもや若者がスマホ依存症になるのを防ぐことであろう」さらには、「平成26年度全国学力・学習状況調査結果では、携帯電話とスマホのゲーム以外の利用時間が短いほど平均正答率が高いこと、テレビを含めたゲームをしている時間が短いほど平均正答率が高いことが明確に示された」とし、ネット依存を防ぐ教育の必要性を指摘されています。私たちも、肝に銘じておかねばならないと思います。

緑桜学園 第三中学校区

7月28日、ふれあいセンターよしのに於いて、中高生22名・保護者8名・三中の先生5名・青少年相談員12名により「ビブリオバトル※」の形式で話し合いがもたれました。

中高生が5グループ（1グループに中学生3名・高校生1〜2名）に分かれ、各自が事前に読んで面白いと思った本について発表後、感想・質問を交えたディスカッションを行いました。その後、グループごとに一番読んでみたい本を選び、グループの代表の本として全体会で発表しました。

発表者は伝えたい事を工夫して発表しました。また、話し合いでは、疑問に思ったことや意見・感想などが交換されました。ビブリオバトルを通して、本から学ぶ（読む）・意見交換（話す・聞く）のコミュニケーションの能力が図られたと思います。



- 紹介された本（代表の本は太字）
- 1班（・二塁手革命・直球・ひるなかの流星・また、同じ夢を見ていた・受験脳の作り方）
- 2班（・記憶屋・神様のカルテ・暗号クラブ・リラief・また、同じ夢を見ていた）
- 3班（「**のび太**」という生き方・ラストゲーム・はなちゃんのみそ・土木図鑑）
- 4班（・さよならLETTER・死神のいる教室・ウオーリアーズM・限りなく黒に近いグレーな心術）
- 5班（・**二塁手革命**・バスケの神様・また、同じ夢を見ていた・終末なにをしていますか？忙しいですか？救ってもらっていいですか？）

○主な感想

- ・初めは緊張したが、思ったより上手に話せて良かった。
- ・他の中学生や高校生の意見も聞くことができて良かった。
- ・たくさん本の紹介を聞いて読みたい本が増えた。
- ・中学生や地域の方々との交流ができて良い経験になった。
- ・発表を聞いて、自分とは違った見方や考え方を知ることができた。
- ※ビブリオバトル・・・「ビブリオバトル」と呼ぶ発表者たちが、おもしろいと思う本の魅力を紹介しあう。「読みたくなった」と思った聴衆の投票数で勝敗が決まる。2007年に京都大学の研究室で始まり、広まった。「ビブリオ」は「本」の意味で、「戦い」の「バトル」と合成した言葉で、知的書評合戦と呼ばれることもある。

移動研修会

わかすぎ学園 第四中学校区 青少年相談員

《茨城県立茨城学園》

◎3つの目標

- ①きまりを守る人
- ②ものを大切にする人
- ③ことばで伝えられる人

ここでは、寮生活の規則正しい日常生活の中で、高校進学へ向けての学習、毎日のランニング、毎月1回の持久走記録会、野球大会、水泳大会、コンサートの行事などが行われています。自然な環境の中で、生活（暮らす）支援、作業（汗する）指導、学習（学ぶ）指導を中心として、各種の支援プログラムを展開しています。

訪問を終えて・・・

保護者が変わり、子どもとのコミュニケーション、特に幼少期の対話が大切で、正面から真剣に子どもと向き合い、いつでもどんなことでも話し合いをするこ

とが信頼関係を構築するために重要であること、また学校や地域社会は子どもたちの行動を、あらゆる角度から見守り支援活動を行う必要があると感じました。

さらに、子どもたちと接する際には、態度、言葉の使い方などにも充分な配慮が必要であることを学ぶ機会となりました。

《東海村青少年相談員との交流会》

東海村では・・・

- ・青少年相談員の存在を認識してもらうために、オレンジのユニフォームと帽子を着用している。
- ・研修を受けた女子相談員5名が毎週金曜、土曜の午後12名で電話相談を行っている。
- ・パトロールは毎週金曜日の午後または夕方に3名体制で駅周辺を巡回している。
- ・その他、夏期巡回、東海まつり巡回、学校訪問、関連団体事業に参加している。
- ・研修会は県内と県外を1年おきに実施している。

東海村青少年相談員との情報交換会では、「青少年の健全育成」について、活動事例の発表、助言、提案などがあり、相互に活発な意見、情報交換が行われた有意義な研修となりました。



# 青少年相談員研修会

白鳥学園 瓜連中学校区 青少年相談員

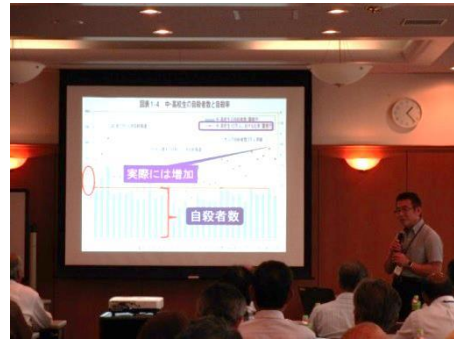
6月29日、総合センターらぼーるにて、那珂市教育支援センター長の加倉井正先生から『社会がかわる、親がかわる』というテーマの講演をいただきました。

「社会環境の変化の中で、親自身が変わり、その結果、家庭の経済事情など、子どもへのマイナスの影響が生じているのではないだろうか。」

それは、孤立、自立できない、コミュニケーションがとれない、希望がもてない、ひきこもり、不登校などの身近な問題として表れていると。

先生の講演のあと、相談員同士の意見交換の場があり、子どもたちのために、次のようなことを、改めて認識させられました。

- ◎叱るときに気をつけたいこと
  - ・信頼関係が大事。
  - ・自分の感情ではなく、相手のことを心から思っている。
  - ・叱ったあとは、気をつけて見守る。
- ◎親のあり方
  - ・親自身がルールを守り、人に迷惑をかけない。
  - ・親として自分の主張をするより、聞くことに努める。
  - ・週に1回でもいいから家族と一緒に食事をする。
  - ・子どもの小さな変化に気づき、良いところは認める。「良かったね。私もそう思うよ。」
  - ・気づいたことがあれば、その子どもに親に伝えてあげる。
- ◎その他
  - ・朝食は必ず摂るようにする。



- ・心に思っていることを言葉に表現できるように努める。
- ・イライラしたときは、6秒間我慢する。「ゼロイチ、ゼロ二、ゼロサン、ゼロヨン、ゼロゴ、ゼロロク」と数えると、怒りが静まる。

講師の講評の最後に、ある親が、子どもに対して言った「お前がこんな風になったのは、俺が悪かったからだ。俺の手を叩け。」という言葉が感動的でした。



## 第3ブロック研修会

白鳥学園 瓜連中学校区 青少年相談員

水戸市をはじめ9市町村の青少年相談員が集い、茨城県青少年心理アドバイザー 阿部誠一氏を講師に迎え、『自己肯定感を育む地域』というテーマのもと、東海村にて研修会が開催されました。

子どもたちを取り巻く環境は、人口減少、少子高齢化、将来予測が難しく混とんとしており、児童虐待、いじめ、ツイッター、子どもの貧困などの問題が生じています。

子どもたちは、大人から否定されること等により、大人不信、社会不信の傾向にあります。その他に、自己肯定感が低い。目を見て接してもらっていない。自分をわかってもらっていないと感じることが少ない。自分は何が好きなのかをわかっていない。自分の本当の気持ち・メッセージを発信できていない。しかし、「話したい、聞いてもらいたい」と思っている。

子どもたちと接するときは、物ごとの結果だけではなく、「どうだった」「なんで、そう思ったの」「あな

たは、どう思う」などと問いかけることが大事です。笑顔で接すると、「あなたは、あなたでいることに価値がある」と伝わり、自己肯定感が高まり、何ごにも積極的に頑張れるようになります。

家庭の幼児教育では、「つ」のつく「9つ」までは子どもの好きなこと、やりたいことを認めてあげて、好きなことをしているときは、目を向けて聞いてあげて、好きとすることです。私たち大人も、人と接する際、鏡を見て、自分に笑みがないときは「なぜ」と問いかけてみることを勧められました。

午後は、パネルディスカッションがあり、学校の現状、子どもたちへの高校生の積極的な取り組みなどの紹介があり、大変意義ある学びの場となりました。

平成29年度 事業報告	
通年	担当地区定期巡回(夜間含め、年15回程度) 児童生徒へのあいさつ声かけ 那珂市民会議等の事業への協力
4月	年度初めの学校へのあいさつ
5月	ステーションパトロール
6月	研修会
7月	「青少年の健全育成に協力する店」の登録推進活動 中高生と語る会
8月	夏休み繁華街パトロール 青少年健全育成のための懇談会 ひまわりフェスティバルパトロール
10月	移動研修会 第47回茨城県青少年相談員研修大会への参加
11月	北茨城市・那珂市青少年相談員交流会 ステーションパトロール
12月	冬休み繁華街パトロール
1月	「青少年の健全育成に協力する店」への新年あいさつ
3月	中学校卒業式パトロール

【発行人】  
那珂市青少年相談員連絡協議会  
会長 関守